

社員活躍のご紹介

桑名

月刊

第3種郵便物認可

「第21回ジャパクラシックパワーリフティング選手権大会」の一般男子105^キ級で、美咲町原田の会社員大光智史さん(36)

が3位となった。国内最高峰の大会で初のメダルに「海外の大会出場を視野に一層頑張りたい」と意欲をみせている。

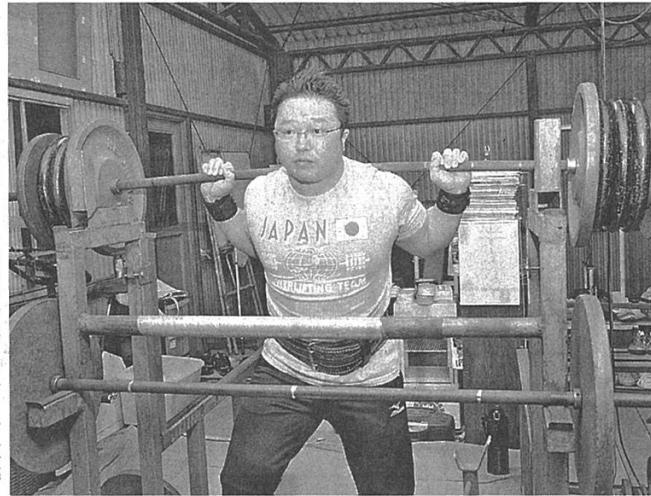
パワーリフティング105^キ級

大光さん(美咲) 3位

海外にも意欲

大会は2月に愛知県岡崎市で開催。バーベルを両肩で担いで立ち上がる「スクワット」、あおむけになって上げ下げする「ベンチプレス」、床に置いた状態から腰まで上げる「デッドリフト」の3種目を行い、持ち上げたバーベルの合計重量で競う。同クラスには12人逆転した。

大会は2月に愛知県岡崎市で開催。バーベルを両肩で担いで立ち上がる「スクワット」、あおむけになって上げ下げする「ベンチプレス」、床に置いた状態から腰まで上げる「デッドリフト」の3種目を行い、持ち上げたバーベルの合計重量で競う。同クラスには12人逆転した。



「ジャパクラシックパワーリフティング選手権大会」で3位となった大光さん

国内最高峰の大会で初メダル

パワーリフティング“105”級で、3位に入賞

弊社岡山工場勤務 技術部 大光 智史



体力づくりの一環で、2005年から競技を始めたが、全日本実業団選手権大会を2度(11、13年)制している実力者。これまでのクラシック大会は93^キ級だったが、今回は減量の必要がない105^キ級だ。これまで、県、協会、理事長の石本直樹さん(54)＝津山市神戸の岩手国体でも3位入賞を果たしている大光

敗が減ったことが好成績につながった。教えたいことを柔軟にこなすのでまだまだ記録は伸びるだろう」と期待している。公開競技ながら昨年の岩手国体でも3位入賞を果たしている大光

「デッドリフトで勝負ができるよう苦手のベンチプレスを強化したい。まず国内では国体優勝、クラシック大会ではアジア、世界大会出場を目標に練習に励みたい」と話している。(池葉須則夫)